

レインボーリボン こども食堂通信

NO. 1

あたたかいご寄付をありがとうございます

こども食堂「1食オーナー」としてご寄付くださった皆さま、本当にありがとうございます。

お礼と活動報告がたいへん遅くなりまして申し訳ございません。今後はおおむね3ヶ月に1回ニュースを発行し、皆さまに活動報告をしたいと考えております。

PTAで知り合ったお母さん仲間で作ったNPO法人レインボーリボンが「子どもの貧困」に関心をもって行動に移すことは自然な流れでもありましたが、実際にこども食堂を立ち上げることができたのは、様々な方との出会い、ご指導、励ましがあってのことでした。

まず3年前のNPO法人化と同時に参加した「かつしか子ども若者応援ネットワーク」で出会った「ハーフタイム」の石原啓子さん。

「かつしか区民大学区民運営委員会」で、緒方提案の「子ども支援ボランティア講座」企画チームに立候補してくださった、尊敬する大先輩の方々、才能豊かな若い仲間。

そして、2015年度は連続5回、2016年度は連続3回、「いのちの居場所を求めて」と題した長時間の講座に参加され、ボランティアとして仲間に加わってくださっている皆さん。

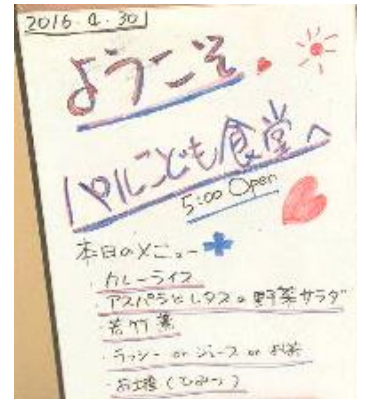
たくさんの志ある方々のおかげで葛飾区男女平等推進センター、通称ウィメンズパルの調理室で月1回の「パルこども食堂」を立ち上げることができました。

パルこども食堂は、「ハーフタイム」主宰の無料学習塾で勉強している中学生とそのご家族、中学生にボランティアで勉強を教えてくれている大学生(NPO法人 Learning for ALL)を対象としています。

現在、もっとたくさん子どもと大人がふれあい、みんなが子どもの問題に気づいたり、子どもの成長を喜んだりすることができる場を作りたいという思いから、青戸で「あおとこども食堂」を準備中です。

後日、「レインボーリボン こども食堂 300円券」「500円券」をお渡ししますので、どうぞ周囲の気になるお子さんにプレゼントしてください。

代表 緒方美穂子



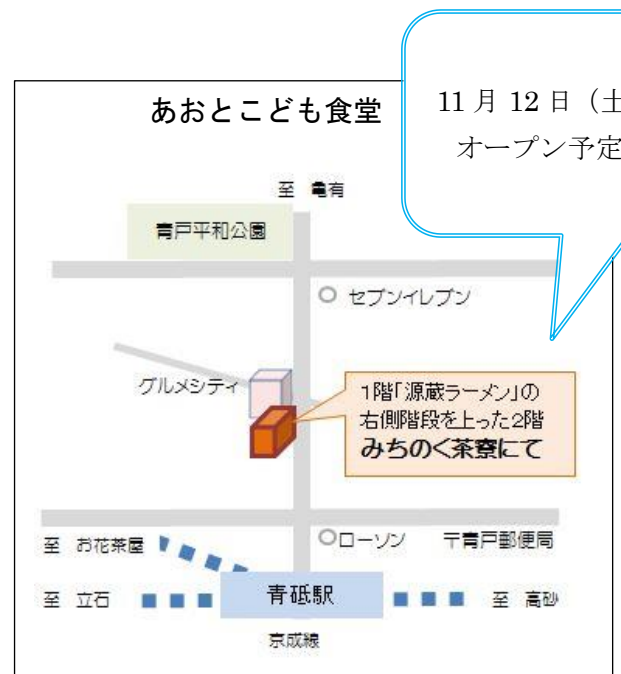
第1回 暖かみのある手書きの看板



第3回 準備風景



第5回 食事風景



パル子ども食堂これまでの歩み

4月9日 パル子ども食堂を立ち上げる会
ミッション（何のために？誰のためにやるの？）、食材はどうする？スタッフは？区民大学「いのちの居場所」講座参加者を中心にいろいろな思いを話し合いました。

4月28日 代表の緒方が食品衛生責任者研修受講。

※パル子ども食堂は毎回、調理器具等は塩素・アルコール消毒、食器は熱湯消毒、調理スタッフはマスク手袋着用など、食品衛生には万全の体制をとっています。

4月30日 第1回
最初はみんな緊張気味でしたが、じゃんけんゲームで笑顔になれました。

5月28日 第2回
野菜などを寄付してくださる方、ボランティア希望者の多さ、温かさに涙が出ました。

※「調理」と「送り」のボランティアがいます。送りボランティアは食事会終了後、子どもを家まで送り届けます。食事会では無口な子が、送りボランティアにはいろいろなことをお喋りしてくれるんです。



第2回 調理ボランティア

6月25日 第3回
人数は少なかったけど、この日、中学生が大ブレイク！自ら手を挙げてスピーチをしたり、後片付けを積極的に手伝ったり。たった3回の出会いでこんなにも変わる子どもたちにびっくりでした！

7月30日 第4回
中学生が大学生のお兄さんお姉さんを引き連れて（？）さらに大胆なパフォーマンスに挑戦してくれました。

※毎回、送りボランティアももう一度調理室に戻ってきて、スタッフ全員で反省会を行っています。「子どもたちの変貌ぶりには驚く。普通はおばさんたちに囲まれて座っているだけでもありえない年頃なのに、コミュニケーション能力が伸びるときにはビュッと伸びるんだな～」と、みんなで感激することがとても多いです。

8月13日 第5回
肉みそは甘辛両方用意したのですが、辛い方が量的にも辛さ的にも「足りない！」という中学生の挑戦を受け、パパスタッフが次回は豆カレーでのリベンジに燃えています。



第5回 献立

※豪華すぎるとい批判（？）もあるパル子ども食堂のメニュー。寄付してくださる方が多いので、子どもたちに1食300円分の食事を出そうと思うと、どうしても豪華になってしまうのです。いつも「今日一番美味しかったものは？」とききますが、子どもたちからは「昆布の煮つけ」「味噌汁」「枝豆」など、嬉しい答えが返ってきます

| | メニュー (青色はおみやげ) | 小中学生 | 保護者 | 高大学生 | スタッフ | 見学 | 計 |
|-----|---|------|-----|------|------|----|----|
| 第1回 | カレーライス、若竹煮、アスパラとレタスのサラダ、ラッシー 非常食、お菓子 | 10 | 1 | 7 | 8 | 7 | 33 |
| 第2回 | ハンバーグ、ごはん、チンジャオロース、野菜スープ、大豆の五目煮、サラダ、即席漬物、チョコバナナ マグカップ、お皿、非常食 | 9 | | 13 | 10 | 3 | 35 |
| 第3回 | 肉じゃが、てじぎと大豆の煮物、鶏卵そぼろ野菜の三色セット、ごはん、4豆腐の味噌汁、タピオカミルクティー、メロン お菓子 | 4 | | 10 | 9 | 1 | 24 |
| 第4回 | 甘結まぐしちらし寿司、豚バラこんにゃく、もやしのナムル、昆布の煮つけ、野菜の味噌汁、プリン、すいか | 5 | | 7 | 10 | 5 | 27 |
| 第5回 | 肉みそ野菜そうめん、ゴーヤーチャンプルー、枝豆、野菜の味噌汁、チョコケーキ、梨 果物ゼリー | 6 | | 6 | 11 | 2 | 25 |

「パル子ども食堂」に参加して 植竹愛子

「いのちの居場所を求めて～こども支援ボランティア講座～」を2か月間、5講座を受講しました。今の葛飾の状況を知りました。

さて！知ったけれど私がお役に立つのかしら？

最終講座で「こども食堂」の立ち上げを緒方さんが提案しました。4月で78歳になりますが元気ですので、さっそく参加しました。

4月から毎月最終土曜日午後から調理をして夕食を提供しています。場所はウイメンズパルの調理室。5時半には「ハーフ・タイム」の中学生と教えている大学生の先生たちが勉強を終わらせて大勢でにぎやかな食事が始まります。

最初は、子どもたちが緊張して気の毒でしたが、だんだん打ち解けて、8月には面白いパフォーマンスに涙が出るほど笑ったり喜んだりしました。

毎食皆さんと作る作業が本当に楽しいのです。78歳の年を忘れて多くの方と過ごすことが何より、感謝しています。



笑顔こぼれる植竹さん